

日程：2006年10月27日(金)～28日(土)(1泊2日)
場所：八王子セミナーハウス(東京都八王子市下柚木1987-1)

第16回大学職員セミナー

激動の時代に輝く大学を創る

- 大学職員が担うべきこと -

特別講演 「知」のインフラストラクチャーとしての大学
黒木 登志夫 岐阜大学学長

特別講演 21世紀の大学改革
清水 潔 文部科学省高等教育局長

分科会
ミッション・教育を支援する
ミッション・研究を支援する
ミッション・社会貢献を支援する



主催：八王子セミナーハウス
(大学セミナーハウス)

<http://www.seminarhouse.or.jp/>

趣 旨

大学全入時代の到来が早まると言われています。国公立大学の生き残り競争は、持てる教育資源と経営資源のすべてを最大限に活かすことが出来るか否か、総力戦の様相を呈してきています。

大学のミッションである教育・研究・社会貢献を個性というカタチにするための努力は、もはや、一部の限られた人たちによって担われるものではなくなりました。教員、職員が学生のためにすべき役割に対して一所懸命であることが、大学の輝かしい明日を約束することになります。いよいよ、激動の時代に立ち向う勇気と深い識見を持つ職員の登場が待たれます。

第16回大学職員セミナーは、国・公・私立の垣根を越え、皆さまと共に輝く大学を創るための時代を生きる職員の役割分担を考えます。ご参加の皆さまには、日頃の努力を語っていただき、フロアの皆さまと活発なディスカッションをしていただきます。

さらに、分科会でのディスカッションと全員参加型「自己表現・評価トレーニング」によってテーマの深化と幅広いヒューマンネットワークを創っていただくことを期待いたします。大学経営を、激動の時代を担いたいと意欲に燃える職員の皆さまの積極的なご参加をお待ちいたします。

(高橋真義)

スケジュール

第1日 10月27日(金)

12:00~13:00 受付・昼食

13:15~13:30 開会

13:30~15:20 **参加者提題発表**

13:30~14:10 提題発表1

14:10~14:40 コーヒーブレイク

14:40~15:20 提題発表2

15:30~17:30 **自己表現・評価トレーニング - 問題点(参加者提題)の深化 -**
ファシリテーター 桜美林大学大学教育研究所教授 高橋真義

18:00~19:00 夕食会

19:20~20:50 **分科会**

21:00~22:00 懇親会

第2日 10月28日(土)

8:00~8:45 朝食・チェックアウト

8:45~10:15 **自己表現・評価トレーニング - 問題点(分科会)の深化 -**

10:30~12:00 **特別講演** 「知」のインフラストラクチャーとしての大学
黒木 登志夫 岐阜大学学長

12:00~12:15 写真撮影

12:20~13:10 昼食

13:30~15:00 **特別講演** 21世紀の大学改革
清水 潔 文部科学省高等教育局長

15:00~15:15 閉会・解散

* スケジュールは一部変更となる場合がございます。

特別講演**「知」のインフラストラクチャーとしての大学****黒木 登志夫** 岐阜大学学長

教育改革を建前としてスタートした国立大学法人化は、国立大学だけでなく、国公立すべての高等教育機関に大きなインパクトを与えた。われわれは、法人化以来、社会の要請に応えるべく教育、研究、経営、地域貢献などあらゆる面で努力をしてきた。それから2年半経過した今、教育改革を困難にするような政策が次々に示されている。それは一言で言えば、教育の重要性を考慮しない一律の「聖域なき財政改革」にある。大学が、国の「知」のインフラストラクチャーを形成し、大学の競争力が国の競争力を決めていることを、政府と社会に働きかけると同時に、われわれ自身も努力しなければならない。

特別講演**21世紀の大学改革****清水 潔** 文部科学省高等教育局長

経済・社会環境の急速な変化が進む中、大学を始めとする高等教育の役割、機能に寄せられる期待もまた変化しつつある。

一方で、わが国の厳しい財政状況は、高等教育に係る公的財政支援のあり方にも変化をもたらしつつある。このような中で、21世紀の大学改革が目指すもの、目指すべきものに関して、この10年間の大学改革の進捗状況を概観しつつ、今後の改革の方向性、国の関与等いくつかの課題について考えてみることにしたい。

自己表現・評価トレーニング

この「自己表現・評価トレーニング」はシンプルです。1チームは5人。参加者は、発表者・司会者・タイムキーパー・評価者・メンバ という5つの役割をそれぞれ時計回りの順番で受け持ちます。

あたたかさいっぱい“ほめる”ことがルールです。3分間の自己表現をメンバー全員が“笑顔”と“うなずき”で応援します。2分間の評価はプラス発想でおこない、5分間の振り返りでは、発表者を褒めて褒めて褒めまくります。2、3、5分間の計測はストップウォッチを使います。メンバーの数×10分間+ という短い時間で、メンバーのコミュニケーション力は高まり、豊かな人間関係が創られます。気がつけばトレーニングの参加者は、皆さん、笑顔がいっぱい、目線が上がり、元気元気元気になるのです。

(高橋真義)

【企画委員】(五十音順)

委員長	程島俊介	(社)学術・文化・産業ネットワーク多摩事務局長
委員	高石道明	信州大学留学生センター元教授
	高橋真義	桜美林大学大学教育研究所教授
	横田利久	中央大学経理部副部長

【八王子セミナーハウス】

理事長	佐藤東洋士	桜美林学園理事長、桜美林大学学長、
館長	荻上紘一	大学評価・学位授与機構教授、東京都立大学元総長

大学職員セミナーの目的

大学運営に関する国・公・私立の壁を超えた共通の課題や問題をテーマに選び、大学職員を対象とする合宿セミナーを行うことによって、情報交換の場を提供し、職員の意識と資質の向上を図る機会とする。もって、教育・研究機関としての大学の健全な発展に寄与することを目的とする。

